

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	とすこい王寺町部屋
------	-----------

利用児童数 7

回収数 4

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4					王寺町部屋では、天候などの状況が許す限り、森（陽楽の森・第三ゾーン/1.7ha）でサービス提供を実施していますので、「活動等のスペース」は十分あります。■王寺町部屋事業所は、主たる事業所（47.4m）・従たる事業所（68.7m）2棟あり、活動に資する十分なスペースがあります。■またフィールド・事業所共に、見学のご希望があれば随時対応します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4					■日常的にフィールドでのサービス提供を行っているため、直接支援に当たる職員は子ども10人あたり6人を配置しています。■保育士、児童指導員などの資格者がいます。■定例ミーティングでの研修（週1回）、全体研修（月1回）の他に、適宜外部研修を受講しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3			1		（設備・環境のバリアフリー化）■主にサービス提供を行っているフィールド（陽楽の森・第三ゾーン）はバリアフリーの環境ではありません。感覚統合に資する目的で、平面は最小限に留め、舗装も行いません。■フィールド内のトイレは仮設トイレ（洋式便座/パイオトイレ）です。■陽楽の森・第三ゾーンに隣接する地域のコミュニティルームにはユニバーサルトイレがあります。■尼寺の田圃に隣接する「尼寺廃寺跡史跡公園」にはユニバーサルトイレがあります。■大宇陀の棚田には水洗トイレはありますがバリアフリーではありません。■事業所内はバリアフリーの配慮がなされていません。■このような状況ですので、自立歩行が困難な方のご利用をお受け出来ていません。（情報伝達で留意している点）■とすこいでは、コミュニケーションの際に①「具体的・肯定的・視覚的」②「見通しを立てる」③「自分で遊ぶ」の三点に留意しています。■コミュニケーションツールとして「株式会社おめどう」の視覚支援ツールを活用しています。https://omemedo.ocnk.net/
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					■主にサービス提供を行っている陽楽の森・第三ゾーンは、自然の中で非常に心地よく過ごせる場所となっています。■事業所は古い建物ですが、事故の危険がある扉などは撤去し、コースやプログラムに合わせて複数の部屋を使い分け環境設定をしています。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4					■利用者様の特性と置かれている環境の理解を支援の基本とし、本人の様子はもちろん、保護者様や関係機関からの情報を集め理解に努めています。「視覚的・具体的・肯定的なコミュニケーション」や「意思決定の6段階」を大切に、他、感覚統合、プロジェクトアドベンチャー、応用行動分析学などの考えに基づき支援を行っています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					■自立支援、余暇、創造性、地域交流の基本活動に配慮した支援プログラム、支援内容を心掛けています。※更新支援プログラムを、本年度未までに公表予定
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					■定例ミーティング（週1回）、日々の振り返り、モニタリング、適時の担当者会議を開催しています。特に新規分については、可能な限りの生活歴の聞き取り、主訴の配慮、関係機関との連携の上、当該計画を作成しています。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					■個別支援計画更新前のモニタリングでは、「本人支援」についての聞き取りの他「家族支援」に繋がるご家族様の様子、入学、進学時には、「移行支援」に繋がる悩みや困りごとをお聞きし、それぞれの支援内容を設定し定例ミーティングにて共有し支援に活かしています。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					■当該計画の目標達成のため、スタッフ間の情報共有に努め、支援を実施しています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4				季節に合わせてなど親も参加したいと思う。	■フィールドの利点を最大限生かし、季節・天候・メンバー・場所によって多様な活動プログラムを提供しています。各曜日、チームとしての成長も着しく、チームビルディングを視野に入れた活動プログラムも考えています。■屋内での活動でも、森の素材や体験を生かした創作活動を実施しています。■利用者様が興味関心のある「電車」「調理」などについて「とすこい」の柱である「自然との関わり」とどのように関連付けていくのか、「自立支援」という観点からも引き続き模索中です。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2				2	■米や麦を育てている田んぼの横、尼寺廃寺跡史跡公園では、地域の子どもたちと木登りや鬼ごっこをする機会があります。また、夏に出掛ける祈りの滝ではご家族で遊びに来られた子ども達と水遊びや沢かに探しを、矢田山遊びの森ではザリガニ釣りを教えてあげるなど特別に設けた機会ではありませんが、お互いに声を掛け、自然と一緒に活動しています。■事業所近隣の達磨寺で行われるマルシェに参加しています。

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4				■重要事項説明書を中心に、ご利用時の説明を行っています。運営規程なども事業所玄関に閲覧可能な形で備えています。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4				■個別支援計画作成、更新の承諾を頂く際に、具体的な支援内容を添えて説明しています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1			■年数回のオープンフィールドを通して、他のご家族との交流、ご相談も行っていきます。今後、研修会などの開催も検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	4				■最も子どもたちを理解されている保護者の皆さまとともに、情報の共有と連携に努めてまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1		相談や助言など連絡も直接話したりできる。	■定期的に年2回のモニタリング時に相談を受け、助言を行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				■スタッフの質の向上のため、日々支援を振り返り、定例ミーティングでは互いの支援やチームとして成長するため話し合い、実践しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4			月1回十分されていると思う。	■年数回のオープンフィールドを通して、他のご家族との交流、ご相談も行っていきます。ごきょうだいでのご参加も可能です。今後、研修会などの開催も検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4			すぐに相談でき対応してもらっている。	■万一の事故が発生した場合に、迅速な対応ができるよう、スタッフは日頃からロールプレイを実施しています。(苦情への対応について) ■2024年1月、より迅速に苦情に対応するため、どすこいでの苦情窓口を法人本部に変更しました。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4				■申し込みについての連絡はしておりませんので、お気軽にお問い合わせください。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4			インスタなどでも発信されていて楽しみにしている。	■ホームページのほか、Instagramでは、タイムリーな情報の発信を行い、保護者のみなさまとの共有を心掛けています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4				■個人情報には鍵付き書庫に保管しています。画像・映像については本人・ご家族の承諾をいただいたもののみ公開しています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1		1	説明、インスタでも、見て安心できる。■「非常災害対策マニュアル」、「防犯マニュアル」、「感染症対応マニュアル」の他、「交通事故対応マニュアル」、「怪我・救急搬送・失踪事故対応マニュアル」が策定されています。■2025年度よりご家族への周知・説明の機会を設けます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			1	■毎年、西和消防署にて、普通救命講習をスタッフ全員で受講しています。避難訓練も机上、実地を含め、年2回行われています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4			場所や天候、子どもの様子などによっても対応されていると思う。	■万一の事故が発生した場合に、迅速な対応ができるよう、スタッフは日頃からロールプレイを実施しています。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			体調不良の時はすぐに連絡相談してもらって助かった。	■事故、怪我が起きた際には、速やかに状況の説明を行っております。怪我、虫刺され、かぶれ等の中には、支援中には症状がなく、帰宅後に発症する場合があります。保護者様からの問合せ後の説明になる場合があります、ご心配をおかけし申し訳ございません。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4			スタッフの名前もよく覚えており、会話言葉も増えてきている。	■特に利用当初は、まず安心してもらえることを支援の基本としています。契約時には、一人ひとりが何に不安を抱きやすいか、どうすれば安心できるかをお聞きし、支援に活かしています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4			毎回楽しみにしており、どすこいが休みの日も「どすこい行く！」と言うことが多い。	■ほとんどの子ども達は、「楽しみ」にしてくれていますが、暑い日も寒い日も森で過ごすことに、「楽しみ」を見出すことが出来ない子がいることも事実です。安心できる家が良い子や、ゲームやスマホへの依存からの行き渋りの子もいます。自然の中で過ごすことで、感覚統合の土台作りが出来る他、「人としての運しきとしなやかさ」「困難なことに出会った時の適応能力」など、自立に向けた力が育ちます。スタッフはそのような思いを持ちつつ、一方でどの子にも「楽しみ」に思ってもらえるように、保護者様からの意見を頂戴し、打合せやミーティングにおいてアイデアを出し合い、具体的な支援内容を考えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	4			安心して関わらせていただいています。いつもありがとうございます。/十分に満足している。様子をよく観ていて子どもに合わせた対応をしていただきありがたい。	■引き続き、満足していただけるよう努力してまいります。